

神奈川県医療機関連絡会議 次 第

令和6年3月22日（金）17時15分～18時00分
Web（Zoom・YouTube ライブ配信）開催

1 開会

2 議題

- (1) 会計検査について

- (2) 新型コロナに係る県の令和6年4月以降の対応について

- (3) 医療措置協定締結のお願い

- (4) 健康医療局医療危機対策本部室の再編について

3 閉会



令和6年次会計実地検査について

神奈川県健康医療局医療危機対策本部室

2024年3月22日

概要

実施期間等

R5.12.25付（会計検査院→県） 会計実地検査実施のお知らせ
R6. 2. 2付（会計検査院→県） 事前質問事項、対象医療機関、検査日程
→R6.2.6（県→対象医療機関） 実地検査受験準備の依頼

実施日として 令和6年2月26日(月)～3月1日(金)

*対象医療機関：28施設（病院：24施設、クリニック：4施設）

今後のスケジュール (予定)

～令和6年4月頃 検査実施医療機関からの補正資料提出
*現時点では対象医療機関以外への検査の実施予定なし

同年11月上旬 会計検査院から内閣府へ報告→公表予定

主な指摘事項

A 病床確保料

本来は補償対象とならない病床へ補償をおこなっていた疑義がもたれている。

空床（＝確保病床のうち使用されていない病床）

- ① 令和2年度には病院全体の空き病床を空床補償としていたが、実際には同室内に他疾患の患者がいる部屋を確保病床としていた。 ※詳細は次頁参照
- ② コロナ病床ではない場所のICUについて、病床確保料の対象としていた。
- ③ 空床補償をもらっていたが、実際は患者が入院していた病床

休床（＝確保病床を運用するために休止にする必要がある病床）

- ① 改修等により、コロナ以前から休止していた病床をコロナを理由として休床補償を受けていた。
- ② 休床補償をもらっていたが、実際は患者が入院していた病床

B 設備整備補助

誤った品目・金額による補助をおこなっていた疑義がもたれている。

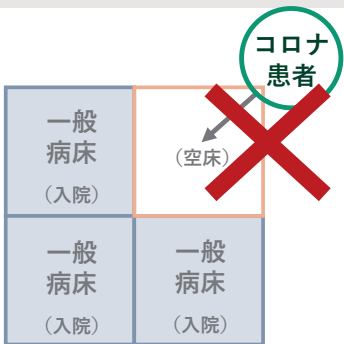
- ① 「個人防護具」区分で聴診器を購入するなど、補助対象外の品目への補助（その他）止血バンド、消毒経費等
- ② 補助上限額を超える額の補助（例）1,100万円の上限に対して約2,000万円の補助

2

令和2年度には病院全体の空き病床を空床補償としていたが 実際には同室内に他疾患の患者がいる部屋を確保病床としていたことへの県の考え方

- 令和2年度＝協定締結前においては、出来るだけ**多くのコロナ病床を確保**する必要があった一方で、**他疾病への対応**も必要だった。

会計検査院から疑義をもたれているケース



▶これに対する県の考え方

そもそもコロナ病床



コロナ非流行期



コロナ流行期



一般医療を止めないために

コロナ流行時には即応化

神奈川モデルの基本理念

コロナ病床の確保と一般疾病の共存

3